

2024年度 事業報告書

特定非営利活動法人ピッピ・親子サポートネット

I. 事業の成果

私たちは、現場で出会う目の前の「困った」に寄り添い、出会いや関わりを豊かに広げていくことをめざして、その実現のために、NPOとワーカーズ・コレクティブが協働し事業を運営しています。

2024年度は、ピッピ・親子サポートネット20年の歩みを振り返り次世代に繋げる20周年プロジェクトの活動や、事業の再編・統合にも取り組みました。

これらの活動を通じて、あらためて、私たちには、目の前の「困った」につながっている地域や社会の課題を自分ごととしてとらえ、視野をひろげ思考と対話を重ねていく姿勢が求められていることを再確認しました。

1.参加型組織の運営

- ・「自主運営自主管理で事業を運営する」というW.Coの理念の実現に向けて、W.Coリーダーミーティングで、意見交換を重ねました。

- ・賃金プロジェクトや20周年プロジェクトの活動において、W.Coリーダーを始め多くの次世代メンバーがリーダーとなり、目標の達成に向けて参加型の活動を展開し、マネジメントスキルを高める取組みを進めました。

W.Coリーダーミーティング (6月14日、3月)

賃金プロジェクト (7月18日、9月19日)

- ・20周年プロジェクト(7月)を設置し、以下3つのテーマで活動しました。

1. ESD(持続可能な開発のための教育)チーム

デイサービスさくらのクリスマスコンサートや、ピッピ学童となりのいえのまち保育の取り組みなどを通じて、共主体をテーマにした学び合いにチャレンジしました。

2. 食支援チーム

「ほいくえんに遊びにきてね」特別編および、おやこの広場はっぴいの「スープの日」や、ピッピタ暮れ弁当の企画・実施、「ありがとうピッピ保育園」など、新たな取り組みを多数実施しました。これらの活動を通じて、参加型で企画・運営を進める経験を重ねました。

3. 多機能支援チーム

法人と連携して他事業所体験プログラムを実施し、スタッフのスキルアップや働き合いが進みました。フィールドワークや学習会を企画し、法人内外の多機能支援を学ぶ機会を多数創出しました。

2.場を開く

- ・様々な工夫を重ね、各事業所での一時保育の受け入れ実績は前年度を大きく上回りました。現場の気づきから、相談支援チームと連携したケース検討や多機能支援も展開されました。りとりるピッピでは、全国小規模保育協議会横浜チャプターと連携して、子ども誰でも通園制度試行的事業を実施し、利用者のニーズや制度の課題を横浜市へフィードバックすると

ともに、改善提案を行いました。

- ・ピッピタ暮れ食堂には、毎月多くの親子が訪れ、活動に参加するボランティアや連携団体も広がっています。横浜市のヒアリングや取材も受け入れ、事業の有用性を伝える機会となりました。

- ・10月より、保護者の声に応えて、W.Coミズ・キャロットすすき野の協力を得て、ピッピタ暮れ弁当の取り組みがスタートし、保育スタッフの理解や参加も少しずつ広がっています。

3.スキルアップ、相談支援

- ・20周年プロジェクトチームが企画した報告会には多くのスタッフが参加し、貴重な共育の機会となりました。他事業の取り組みを学び、日常的な連携につながることを期待されます。

1 ESD(持続可能な開発のための教育)

3月17日「共主体を考える 事例紹介・座談会」参加人数 27人

2 食支援チーム報告会

3月13日「スープの日」と「ありがとうピッピ保育園」を振り返る」参加人数 41人

3 多機能支援チーム報告会

12月12日「他事業所体験報告とフィールドワーク見学報告会」参加人数 43人

3月6日「一時保育と相談支援の実践を学ぶ&グループワーク」参加人数 47人

- ・各事業と連携し、必要に応じて相談員がケース検討会に参加し継続的な支援を行いました。とりわけ、保育事業との連携を強め、ケース会議を定例化し毎月開催することとしました。

- ・NPO法人横浜アクションポートのプログラムに参加し、5人の学生を受け入れました。毎年継続して受け入れを行うことで、相互の学び合いに生かすことへの理解が深まっている。学生の広報業務への貢献度は高く、今後も、そのスキルを活かせるような取り組みを検討します。

4.ともに働く・暮らす

就労準備事業で1人、就労訓練事業で1人(有期雇用へ)受け入れました。。

マニュアル作成や仕事の切り出し等、就労体験や就労訓練の受け入れのための準備を通じて、業務の振り返りや見直しに通じる経験を重ねています。また、通常業務では触れることの少ない様々な困難を抱える方たちと働くことはケアワーカーとして、また事業をマネジメントするW.Coとして貴重な経験となっています。

5.ネットワークを広げる

- ・毎月、各事業所でフードドライブを実施すると共に、青葉フードシェアネットワークと連携してフードパントリー活動を実施しました。ワーカーやアルバイトスタッフ、生活クラブ組合員等のボランタリーな参加も広がっています。また区社協の連絡会での情報共有、市が尾地区子育て支援ネットワークからの見学等、地域の支援団体との繋がりも広がりました。

- ・年度途中でこども家庭庁の補助金の交付申請(2回)し、活動資金を得たことも後押しとな

り、保育園だけでなく広場事業での夕暮れ弁当の取り組みに広がりました。

- ・青葉フードシェアネットワークでの活動

パントリー利用者へのアンケートを実施、報告会を開催しました。(2月2日)

アンケート結果を踏まえて、青葉区長との意見交換を実施し、身近な店舗・事業所への食品ロスの削減・活用を働きかけることなどを提案しました。

山下みどり台小学校で、出前授業を実施(1月9日)し、その後、学校内でのフードドライブ活動に繋がり、食品、絵本、日用品などを寄贈いただきました。

6.市民連帯経済つなげるかながわへの参加

W.Co協会からの呼びかけをきっかけに、生活クラブ運動グループ「市民連帯経済つなげるかながわ」への参加を決定しました。検討を通じ、ピッピ・親子サポートネットの誕生から今日に至るまで、生活クラブ運動グループの資源やネットワークを活かし、多くの「つながり」の中で事業を展開してきたことを再確認しました。

7.現場から社会を変える

横浜ユニット連絡会として、横浜市の2025年度予算に向けた提案を提出、また小規模保育協議会横浜チャプターとして横浜市への提案を行なった他、横浜市会各会派との継続的な意見交換を行なっています。継続的な働きかけにより、保育現場へのアンケートも実施され制度に反映させることができました。これらの活動は、法人のミッション実現に向けての重要な活動であると同時に、各事業をマネジメントしていく上でも必要とされる活動です。今後も、社会情勢や政策制度に目を向け、視野を広げNPO、W.Coの役割を果たしていきます。

8.広報

- ・ニュースレター30号、31号を発行

- ・新たにInstagramを開設しました。今後も情報発信に努めます。

II. 事業の内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 子ども子育て支援法及び児童福祉法に基づく認可保育園事業、放課後児童健全育成事業及び子育て支援事業

ア 認可保育園事業

- ・内 容 保育及び子育て支援事業（一時保育、園開放、育児講座等）
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピ保育園及びピッピみんなの保育園(分園)
- ・支出額 150,086,434円
- ・受益対象者 認可保育園、一時保育及び子育て支援事業利用者
通常保育： 44人
一時保育： のべ 1229人

イ 小規模保育事業

- ・内 容 保育事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 りとるピッピ及び大場りとるピッピ
- ・支出額 65,447,783円
- ・受益対象者 通常保育利用者及び一時保育利用者
通常保育： 17人
一時保育： のべ 752人

ウ 子育て支援事業－1

- ・内 容 親と子のつどいの広場事業及び乳幼児一時預かり事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピおやこの広場はっぴい及びここはっぴい
- ・支出額 26,704,061円
- ・受益対象者 利用者：のべ 3,371人

子育て支援事業－2

- ・内 容 ピッピヘルパーケア 産前産後・子育て支援ヘルパー派遣事業
- ・日 時 通年
- ・支出額 2,216,382円
- ・受益対象者 利用者：のべ 625人

エ 放課後児童健全育成事業

- ・内 容 小学生の放課後の健全育成
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピ学童保育となりのいえ
- ・支出額 13,210,425円

- ・受益対象者 利用者：のべ 2,910人

②児童福祉法に基づく障害児通所支援事業、指定障害児相談支援事業

ア 障害児通所支援事業

- ・内 容 放課後等デイサービス事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピデイサービスとなりのいえ
- ・支出額 25,711,073円
- ・受益対象者 利用者：のべ 2,710人

イ 指定障害児相談支援事業及び指定特定相談支援事業

- ・内 容 障害児・者計画相談事業
- ・日 時 通年
- ・支出額 3,953,946円
- ・受益対象者 利用者：のべ 160人

③介護保険法に基づく居宅介護支援事業、介護予防サービス事業、地域密着型 サービス事業、第1号介護予防支援事業、及びその他 介護保険外の在宅支援事業

ア デイサービスさくら

- ・内 容 地域密着型通所介護事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 デイサービスさくら
- ・支出額 10,015,940円
- ・受益対象者 利用者：のべ 997人

イ 居宅介護支援大場町みんなのいえ

- ・内 容 居宅介護支援事業
- ・日 時 4月～6月
- ・場 所 大場町みんなのいえ
- ・支出額 887,536円
- ・受益対象者 利用者：のべ 55人

④障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉 サービス事業、地域生活支援事業、及びその他の派遣事業

移動支援事業

- ・内 容 移動介護及び 通学通所支援
- ・日 時 通年
- ・場 所 ピッピ移動支援となりのいえ
- ・支出額 4,946,183円
- ・受益対象者 利用者：のべ 942人

⑤食や居場所づくり等を通して地域の助け合い・つながり合いを推進する事業

- ・内 容 サロン・フードパントリー・夕暮れ食堂等事業
- ・日 時 通年
- ・場 所 大場町みんなのいえ・ピッピおやこルーム・くらしてらす
- ・支出額 3,894,154円
- ・受益対象者 利用者：のべ 2,442人